

弔 辞

成川正晃教授が昨年4月6日に夭折され、1年半が経ちました。訃報に接した時は、あまりに突然のことで信じられませんでした。と言いますのも、令和3年7月8日に互いの恩師である久木田重和先生が逝去されて間もなく、また、成川教授が久木田先生の追悼シンポジウムの開催に向け、準備委員として精力的に携わっておられた矢先でのことだったからです。

思い起こせば、成川教授と私の出会いは久木田ゼミOB会で25年ほどのお付き合いとなります。毎年OB会の開催には多忙にもかかわらず、ご協力を頂きました。OB会では現役学生や若いOBに気軽に話しかけられ、楽しそうにお酒を飲まれていたお姿は忘れられません。

成川教授の学術的なご功績は言うまでもありませんが、特に中小企業会計を研究されていたこともあり、税理士である私にも色々ご教授頂いたのも、いい思い出です。

公私にわたって、充実期に入られた矢先での他界は成川教授にとって、さぞ悔しい思いでありましょう。

心血を注いだ久木田先生の追悼シンポジウムは多くの方にご出席頂き、成功裡に終わったことをこの場を借りて、成川教授にご報告致します。

もうお会いできないのは、寂しい限りですが、本学の発展こそが、成川教授への手向けになると思います。私も微力ではありますが、携わって参りたいと思います。

改めて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

三知矢 勉